

都祁公民館だより

発行 公益財団法人
奈良市生涯学習財団
都祁公民館
奈良市針町2191番地
TEL&FAX 82-1362
発行責任者 植田 隆

おしゃべり会 in 都祁公民館 おらがまちの公民館

館長 植田 隆

公民館のこれからを考えるイベント「公民館って、どんなところ」がありました。およそ二百人ほどの市民が「こんなふうにご利用してみたい」「こんな講座があったら・・・」などのおしゃべり会をしました。こんな話し合いをもっと続けたいという意見が出ました。そこで、毎月どこかの公民館でおしゃべり会をすることになりました。

都祁公民館は、五番目になり十一月二十四日に実施した。

「おしゃべり会 in 都祁公民館・おらがまちの公民館」と題して、公民館の現状を私が語りました。

公民館は こんなところですよ

- 赤ちゃんから高齢者まで誰もが気軽に集えるところ
- つながりの輪を広げる場所
- 笑顔になる人生が豊かになる場所
- 学びを通して幸せな未来と地域を地域の人と共に創る場所

奈良市に合併して十年余り、公民館も公益財団法人になり教育委員会の管理から財団の指定管理になりました。館の使用状況や活動の状況は、都祁、独自のものがあること。同じ教育で学校教育と社会教育では違いがあることなど語りました。

そんな中で、財団職員はこう考え、これからの公民館を運営していこうと思っている話をしました。

私たち職員は...

- 人と人の出会いを大切にします
- 多様性を受け入れます
- 住民の学ぶ権利を守ります
- 地域と鳥の目・虫の目で見て情報収集し現状を正確に把握します
- 様々な情報を発信し続けます

第2部は、参加者の思いや意見交換です。司会や記録には、東部公民館の職員の皆さんに協力していただきました。その話の内容は

- ・メンバーが高齢化しているが頑張っている。とにかく楽しい。
- ・つげまつりなど発表の場があり、つながりが広がっている。
- ・いろんな人と会え、自分を高めることができる場である。
- ・都祁地域の公民館以外は、使っていない。自分たちの地域の公民館を自分たちで盛り上げよう。



公民館は出会いの場、みんなと楽しく活動する場、たく活動する場、たのしく対話する場である。などの話が出ました。

公民館主催講座のご案内

めざせ少林寺拳法

少林寺拳法のたくさんの技からいくつかの技を体験します。
日程：1月13日(土)・1月27日(土)
2月10日(土)・2月24日(土)
時間：13時30分～15時
講師：銚谷 浩司さん
都祁スポーツ協会
持ち物：飲み物(お茶等)
費用：無料
場所：都祁公民館 1階 実習室
服装：運動のできる服装

ふれあい交流会(すずらん学級)

都祁で活動されているグループ一同に集まり交流発表会をします。すずらん学級だけでなく皆さんご参加ください。
日時：3月3日(土)
13時30分～16時
場所：都祁福祉センター 和室
出演：都祁地域の皆さん(グループ活動の)
特別出演：吉田 力さんと仲間たち
費用：無料
☆吉田 力さんは、都祁白石町在住のギターリストです。

こんな事業がありました!

ブチ田舎暮らし

―野菜作り陵燈会―

五回シリーズのブチ田舎暮らしも十一月十一日に終わりました。今年で四年目になりますが、初めての出来事が起こりました。日の変更です。十月の長雨、しかも週末ごと台風。順番を変更し、玉ねぎ植えの後にサツマイモの収穫と秋野菜の料理教室をしました。

最後の日は、午前中に都祁産野菜で料理をし、昼食後にサツマイモを収穫しました。十月の長雨で水分を多く含み長期の保存はできないかもしれないかもしれません。また、十一月まで収穫が延びたので、霜にあ



アクティフシニア農業体験事業

たり真っ黒になったサツマイモの葉を見ることができました。昨年同様に、地元農家の浦久保 松田両氏を講師に迎えカボチャ・冬瓜・サツマイモ・玉ねぎの栽培等について指導を受けました。親切、ていねいな指導と助言あり



がとうございました。一年間通して土に触れ野菜栽培を体験し、参加者のみなさんと楽しく講座ができました。来年もぜひ参加ください。

こんな講座がありました！（公民館主催講座）

つげ体験セミナー

〔蜜蠟キャンドル作り〕

蜜蜂の蜜蠟からキャンドルを作る講座をしました。講師は興東地域の東さんです。

講師には蜜蠟キャンドルづくりだけでなく蜜蜂の話やキャンドルの歴史もおそわり、蜂蜜まで試食させていただきました。十一月八日実施

出来上がった作品を紹介します。クリスマスに使えるようなキャンドルができました。



トールペイント

十二月五日のつげ体験セミナーは、講師に東浦さんを迎えトールペイントを行いました。

トールペイントは、樹脂製の絵具を使い板、布、素焼きの鉢などに絵をかきます。今回は、大小、二つの素焼きの鉢に、絵や文字を書きました。



おいしく異文化交流

ベトナム編

十二月八日、都祁福祉センターでおいしく異文化交流を行いました。

講師には都祁在住のベトナム家族をお迎えしました。ドクさん・トアさん家族です。トアさんの子どもは都祁小学校の五年生と三年生です。子どもたちは日本にきて一年ですが日本語がとても上手です。



この日のメニューは、生春巻き・揚げ春巻き・フォーでした。

子どもと保護者が協力し合って調理しました。

出来上がった料理は、ポリウム満点、おいしさ抜群でした。

みんなで後片付けをし、参加した子どもと会場を作りました。

ベトナムについていろいろと教えてもらいました。学校のこと、国の様子勉強のこと、遊びのことなどです。

ちなみに、ベトナムでは、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」は、一つのいいかたで「シンチャオ」というんだそうです。

キッズつげサー

しめ縄作り挑戦

十一月二十五日講師に徳家眞さんを迎えしめ縄作り挑戦しました。

最近ではしめ縄を作る家庭は減り、子どもたちの家でも買い求めたしめ縄を飾るようになっていきます。

束ねたわらを三つに分けてまず、そのうちの二本をぬっていきます。

残りの一本を合わせていきます。

出来上がった縄を丸めます。

一重でも、二重でもかまいません。

飾りをつけて出来上がりです。



つげ体験セミナー「寄せ植え」

恒例になってきた寄せ植え教室、参加者も多くにぎやかに行っていきます。

今年の二回目は、秋の寄せ植え「クリスマス風」です。

気候のせいで花が不足していても多くの花をそろえていただき、素敵な「クリスマス」の寄せ植えができて



一度参加してみませんか。

◆黄楊俳句会◆

室生寺のライトアップや塔紅葉

あおき あきお

尼寺の厨磨かれ吊るし柿

今岡 和子

近ごろは謝罪ばかりや冬来る

山下 敬輔

振り返り又来る年の喜びを

瀬川 富貴子

田舎暮らし米は新鮮年は暮れ

三宅 貞夫

小春日や「平成」閉じるニュース見る

三宅 修子

◆古書にイチョウの葉が・店主のつぶやきに反響◆

「古い本にイチョウの葉が挟まっていることがたまにあります」というつぶやきがネットで注目されました。「ゴミが挟まっている」といやな思いをされるかもしれませんが、実はこれ、かつての本の持ち主が、本を大切にしていた証かもしれません。

古い本にイチョウの葉が挟まっているのは、葉として使われたということもありますが、イチョウの葉には防虫効果があるからです。

前の持ち主が大切に保管していた証であり、買った本にイチョウの葉が挟まっていたら思い出してもらえると嬉しいです。

という投稿でした。

店主は「そんなに珍しい話ではないです。江戸時代の本などには、ときどき見かけるそうです。その人が本を大切にしておきたいという思いのあらわれでしょう。」といっています。

電子辞書が普及し、古典書籍がデジタル画像化される時代です。デジタル化されたときにイチョウの葉は、ゴミとして取り除かれるでしょう。しかし、古人がイチョウの葉に託した書物への思いは、現物をみてこそ感じられるものです。

現物が持っているよさは、触てこそ味わえるものではないのでしょうか。